

“幼語り”をいろいろな方々に御依頼
してありますが、波多野完治先生にも御登
場をお願い致しました。七十九歳を迎え
られる児童心理学者は、しかし、いまだ
自らの幼児期は語りたがりませんでし
た。『泣いた赤鬼』という題名の喜寿記
念集のある先生には、児童心理学へ向う
原点でもあった、幼児期の或るこだわり
が活きていて、今もって書けないと言わ
れるのです。そして、それは、また何と
いう美事さでしょうか！

私どもの依頼にかえて、滅法本好きな
先生が執筆の労をとって下さったのが、
岩波書店から現在、刊行が続けられてい
る「子どもと教育を考える」シリーズの
一冊、高橋恵子著『自立への旅立ち』に
寄せた一文でした。

この岩波の新シリーズは、親・教師・
保育者におくと掲げられ、混迷した育
児・教育問題に、既成の説明をあてはめ
ることなく、人間文化のニュー・ウェイ

ブを探索する企画のように見うけられま
す。津守真先生も、『自我のめばえ——
幼児の世界の探究——』の一卷を執筆さ
れており、刊行が楽しみに待たれます。

○

今号のテーマ特集は、「子どもと環境」。
園舎、遊び場、子ども部屋……さらに多
様な子どもがいる場所を取り上げるべく
努力しましたが、すべてはかないません
でした。女性建築家として御活躍してい
らっしゃる小川信子先生のお話による
と、昨年は、国際婦人建築家協会の創立
二十周年で、四月、パリで国際大会が開
催されたということです。そして、その
大会記念テーマには、子どもにかかわる
施設建築が選ばれ、参加国五十七ヶ国の
女性建築家が、政治的国境を越えて集
い、討議がなされたと言います。子ども
の環境は、世界的な関心事として動いて
いるようです。さて、次号は、緑蔭図書紹
介の特集です。どうぞお楽しみに。(美)

幼児の教育 第八十三巻 第七号

七月号 ◎

定価三〇〇円

昭和五十九年 六月二十五日 印刷
昭和五十九年 七月 一日 発行

東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 編行人 本 田 和 子

東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都港区三田五ノ一二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一一九六四〇番

◎本紙御購読についての御注文は発売
所フレーベル館にお願いいたします

*万一製造不良の点がございましたら、おとりかえいたします。